

人と魚と海のネットワーク
 香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
 TEL 087-825-0350
 J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

かん水組合通常総会開催

香川県かん水養殖漁業協同組合は8月8日(金)漁連会館6階大会議室で第45回通常総会を開催した。嶋野組合長挨拶のあと来賓として県水産課下川課長、県漁連服部会長が挨拶を述べた。



嶋野組合長の挨拶

志度漁協松原組合長を議長に選任し、上程された議案は全て原案通り可決承認された。
 また、役員改選の結果は下記の通り。

役 職 名	氏 名
代表理事組合長	嶋 野 勝 路
第 一 理 事	高 野 勇
理 事	清 船 悦 郎
〃	松 岡 善 一
〃	野 崎 勲
〃	河 内 一 夫
〃	小 山 良 明
〃	吉 川 喜 代 治
〃	香 川 信 久
〃	門 孝 治
〃	浅 野 博 海
代 表 監 事	岡 田 英 二

監 事	三 谷 新 吉
〃	島 野 勝 司

また総会終了後、「養殖業の今後のあり方と餌飼料の動向に関する研修会」が開催された。この研修会は毎年開催されており、養殖技術の研鑽を図る有意義な会となっている。

会は主催者の香川県かん水養殖漁業協同組合嶋野組合長の挨拶で始まり、鹿児島大学水産学部教授佐野雅昭氏による「養殖業の今後のあり方について」、続いて(社)日本飼料協会白鳥勝氏による「餌飼料の動向について」の講演が行われた。



佐野教授の講演

燃油高騰水産業緊急対策説明会の開催

平成20年8月8日(金)漁連会館6階大会議室において、燃油高騰水産業緊急対策説明会が県下の漁協役員等約100名が参加し開催された。主催者を代表して県漁連服部会長が挨拶を述べその後、水産庁燃油高騰対策推進PT室長井上清和氏、全漁連漁政・国際部長市村隆紀氏から説明された。燃油高騰水産業緊急対策(骨子)は以下のとおり。

1、省燃油実証事業の創設

燃油消費量を1割以上削減する操業の実証を行う漁業者グループに対し燃油費の増加分に着目した支援(燃油対策基金(19年度補正)漁船漁業構造改革プロジェクト)

2、省エネ機器等導入の支援

沿岸漁業改善資金(無利子資金)の要件を見直し、同じ漁業者が繰り返して省エネ施設・機器を導入する際に融資

3、省エネ操業の支援

省エネ操業を行うのに必要な運転資金を無利子で融資

(省エネルギー推進緊急対策特別事業)

4、休漁・減船等支援対策

燃油高騰を踏まえ、漁業者の負担を義務付けない等漁業種類の実情に応じた休漁・減船等を支援(資源回復等推進支援事業等)

5、国際漁業対策

国際的規制に加え、燃油高騰等も踏まえた減船に対して支援(国際漁業再編対策事業)

6、流通の多様化等を通じた手取りの確保

漁業者の手取りの確保に資するよう、水産物買取規模の拡大、直接取引の支援措置の改善、養殖餌料の直接取引を支援する事業の新設(国家水産物安定供給推進事業)

今後の対応としては、県漁連を中心に系統団体(信漁連、共済組合、基金協会、共水連、漁船保険)と燃油高騰緊急対策プロジェクトチームを作り、地区ごとの担当者により組合への事業実施及び事務指導を行う。



服部会長の挨拶

主な行事予定(9/1~9/30)

9月7日(日) 第28回全国豊かな海づくり大会(新潟県)

8日(月) 香川ハマチ大使認定式

9日(火) 理事会

2008年漁業センサス

本年11月、全国一斉に実施します。

漁業センサスは、5年ごとに我が国の水産業の実態を明らかにする“水産業の国勢調査”ともいうべき大切な調査です。

農林水産省が都道府県・市区町村を通じて実施する調査で、漁業者や水産関係者の方々のところへ、統計調査員が調査票の記入のお願いに伺います。

調査結果は、国や地方公共団体の水産行政施策の推進のため広く利用されています。

また、調査した内容は、統計資料作成のためだけに使用します。

調査へのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先

香川県政策部統計調査課

TEL 087-832-3150